

にほん せかい いさん あじ 日本の世界遺産味めぐり

ほうりゅうじちいき ぶつきょうけんぞうぶつ ならけん —法隆寺地域の仏教建造物(奈良県)—

せかい いさん 世界遺産とは

せかいじゅう ひと たからもの
世界中の人たちの宝物とし
まも ひとつ たいせつ
て守っていく必要のある大切
ぶんかざい たてもの しぜん
な文化財(建物)や自然のこ
とをいいます。



ほうりゅうじちいき 「法隆寺地域」

せかいさいこ もくぞうけんちくぶつ
世界最古の木造建築物であり、その
たてもの
建物のうつくしさは傑作といわれています。
ほうりゅうじちいき せいき せいき
法隆寺地域には、7世紀から19世紀までの
かくじだい ぶつきょうけんぞうぶつ のこ
各時代の素晴らしい仏教建造物が残されてい
て、その頃の日本と中国、東アジアとのいろ
いろなこうりゅう
交流があったことがよくわかります。
こうしたことから、1993年(ねん)にせかい いさん
として
どうろく
登録されました。

ならけん 奈良県の

おいしい食べもの



みわ
三輪そうめん

ほそくて
細くてつるつとしたコシがあるのが特徴
きゅうしやく どうじょう
(給食に登場します)



あげ
たつた揚げ

なら たつたがわ なまえ ゆらい
奈良の「竜田川」が名前の由来
さば あ きゅうしやく どうじょう
(鯖のたつた揚げで給食に登場します)



なら
奈良づけ

さけ
酒かすで漬けたお漬け物